

労働力調査（基本集計）

平成28年（2016年）1～3月期平均（速報）

結果の概要

[全 国]

- ・ 就業者数は6363万人と、前年同期に比べ46万人の増加
- ・ 完全失業者数は213万人と、前年同期に比べ15万人の減少
- ・ 完全失業率（原数値）は3.2%と、前年同期に比べ0.3ポイントの低下

[地域別]

- ・ 就業者数の対前年同期増減をみると、南関東、北陸、東海、近畿、四国、九州及び沖縄は増加、東北は同数、北海道、北関東・甲信及び中国は減少
- ・ 完全失業者数の対前年同期増減をみると、東北、南関東、北関東・甲信、近畿、中国、四国、九州及び沖縄は減少、北海道は同数、北陸及び東海は増加
- ・ 完全失業率の実数及び対前年同期ポイント差は、次のとおり

北海道…………… 3.8% (前年同期と同率)	近 畿…………… 3.5% (0.4ポイント低下)
東 北…………… 3.6% (0.3ポイント低下)	中 国…………… 2.9% (0.4 ")
南関東…………… 3.3% (0.1 ")	四 国…………… 3.3% (0.5 ")
北関東・甲信… 3.1% (0.5 ")	九 州…………… 3.0% (0.9 ")
北 陸…………… 3.0% (0.3ポイント上昇)	沖 縄…………… 4.4% (1.1 ")
東 海…………… 2.8% (0.4 ")	

図 1 地域別完全失業率

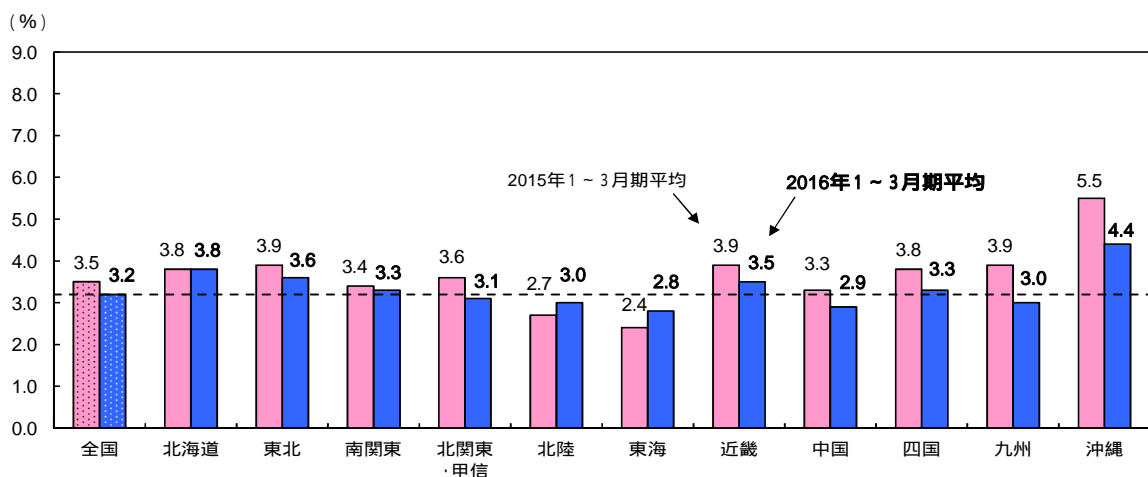


図2 地域別完全失業率の対前年同期ポイント差の推移

